

栄養管理学専攻

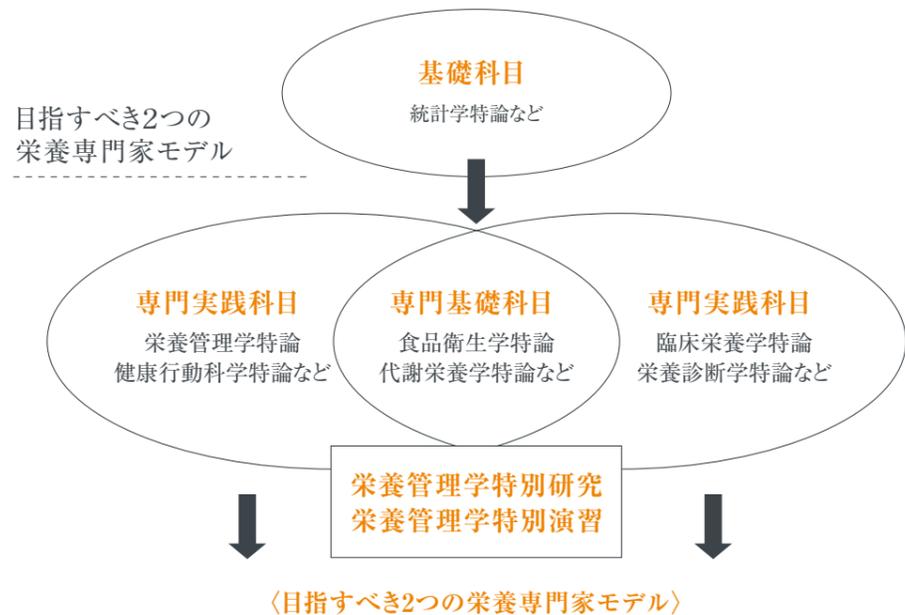
博士前期課程 博士後期課程

博士前期課程〈修業年限〉2年 〈学位〉修士(栄養学) 〈入学定員〉3名
 博士後期課程〈修業年限〉3年 〈学位〉博士(栄養学) 〈入学定員〉2名

博士前期課程

〈取得可能資格〉栄養教諭専修免許状(選択)

学士課程で展開した栄養学教育を基礎としながら、「**人間栄養学**」のエビデンス(科学的根拠)に基づいたシステムティックな栄養管理を実践できる卓越した専門性を有する管理栄養士の育成を目指します。本課程に出願するためには**栄養士免許**が必要です(取得見込みも可)。



地域社会で健康づくり・生活の質の向上を支援する栄養専門家

地域社会において、栄養に関わるエビデンスの還元、改善計画立案・実施・評価などを実践する専門職業人を目指す。

医療・福祉の分野で傷病者を支援する臨床栄養専門家

チーム医療などに参画し、他職種と協同して高度な栄養管理能力を有する専門職業人を目指す。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に倫理的な配慮を行い、人間の「健康」と「生活」の支援に必要な基礎知識を身に付け保健・医療・福祉に応用できる。
- ・栄養学の専門分野における問題についてグローバルな視点を持って主体的に探究し、連携・調整を図りながら問題解決方法を考えることができる。
- ・栄養学の専門分野における高度な知識を身に付け、研究および栄養管理の実践に適用できる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、適切な研究方法を選択し、研究成果としてまとめる事ができる。

カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤にした倫理的な配慮を身に付ける。
- ・人間の「健康」と「生活」の支援に必要な学修を通して、地域の保健・医療・福祉の現状について議論できるだけの知識を身に付ける。
- ・グローバルな視点を持つこと、連携・調整を図ることの重要性を学ぶ。
- ・専門分野での実践と研究を支える科目を開設し、統計学や疫学の基礎理論を身に付け、主体的に探究し研究する方法を学ぶ。
- ・食品と栄養に関わる問題を解決するうえで必要とされる高度な知識を身に付け、研究専門分野への応用実践力を養う。
- ・栄養学の専門分野の知識を深め、それを応用し演習・研究を行い、自ら問題解決を行う能力と研究能力を養う。

カリキュラム

区分	科目	
基礎科目	倫理学特論 統計学特論 疫学 人間関係論特論	研究方法論特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
専門基礎科目	食品衛生学特論 食品学特論 食薬理学特論 栄養生理学特論 代謝栄養学特論 栄養免疫学特論	地域ケアシステム論 ヘルスカウンセリング論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門実践科目	栄養管理学特論 栄養疫学特論 健康行動科学特論 健康・食行動理論 健康栄養エビデンス論	栄養診断学特論 栄養管理学総合演習 臨床栄養学特論 栄養管理学特別研究 栄養管理学特別演習

〈修了要件〉30単位以上



在宅患者の栄養管理に関する研究に取り組みたい

天使女子短期大学を卒業した後、通信教育で大学を卒業し、地域の病院に勤務して20年以上が経過した頃、今まで臨床現場で行ってきたことを形にまとめたいと思い、大学院に進学したいと考えました。病院での勤務期間は長いのですが、研究に関しては全く分からない事ばかりで、不安な気持ちでいっぱいでしたが、現在は新しいたくさんの学びにとっても感謝しております。現在、私は勤務先で在宅訪問食事指導を行っており、患者さんが自宅で栄養管理を行うには管理栄養士の力が重要だと感じております。研究に関してはまだまだ学ばなければならない事がたくさんありますが、今後の在宅栄養管理をより効果的に行っていくためにも、研究に取り組んでいきたいと考えています。

たくさんの新しい発見と学びがある大学院は、思い切って入学して良かったと、深く感じています。

在学生

栄養管理学専攻
 博士前期課程 2年次
 ※日本赤十字社 栗山赤十字病院
 医療技術部栄養課に勤務

藤女子大学との大学院間の 単位互換制度を開設しています。

相互の交流および協力の促進と教育の充実を図ることを目的として、単位互換に関する協定を締結しています。これにより、藤女子大学大学院人間生活学研究科において指定の科目の単位を修得した場合には、本学の授業科目に振り替えて単位を授与することができます。

単位互換対象科目(2020年度)

藤女子大学大学院で履修できる科目	左記科目の本学大学院単位振替科目
食品品質学特論I	食薬理学特論
食品品質学特論III	食品学特論
公衆栄養学特論I	健康栄養エビデンス論

Topic

天使健康栄養クリニック

動脈硬化性疾患の発症は著増し、メタボリックシンドロームの予防・治療が衆目を集めています。天使大学では大学院看護栄養学研究科の設置に伴い、「栄養管理学専攻」での研究成果を地域に還元し、地域住民の健康づくりに寄与するために「健康栄養クリニック」を2006年度より開設し、これを通じてメタボリックシンドロームの臨床栄養学的研究並びに健康行動変容研究を行い、大学院生の実践的教育にも役立てています。具体的には、身体測定、血圧測定、血液検査、食事調査、運動能力測定、日常運動量(歩数)調査、生活習慣調査、講義、食事個別指導、運動個別指導など、メタボ

リックシンドロームに焦点を当てた予防・改善指導を行っています。

2008年には、クリニックの実績をもとに申請したプログラム(事業名称:「メタボリックシンドローム予防のための健康栄養指導スキルアップ実習プログラム」)が、平成20年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択されています。

また、天使健康栄養クリニックは、栄養管理学専攻博士前期課程1年次の「栄養管理学総合演習」と連携しており、天使健康栄養クリニックで得られたデータをもとにした修士論文や博士論文も発表されています。



本課程におけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

博士後期課程

栄養管理学専攻博士後期課程は、人を対象とした人間栄養学の基礎的及び実践的(応用的)研究を通して、ライフステージや環境、あるいは疾病罹患時における生体機能の変化などを的確に把握し、断片的かつ拡散している高度な「栄養」の専門知識を統合理解することで、今日の栄養学的課題を明らかにし、それらの解決の具体的方策を探り、自立して教育・研究を行い、社会に貢献する人材を育成します。

ディプロマ・ポリシー

- ・専門的かつ高度な教育及び研究を通して栄養管理学の先端のおよび実践的な知識を身に付け、保健・医療・福祉に貢献できる。
- ・栄養管理学に関わる課題においてグローバルな視点を持って主体的に探究し、自立して研究を行うことができる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、研究をととして課題解決の方法を提示できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・栄養管理学に関わる先端的な教育および研究をととして、社会に貢献できる卓越した能力を育成する。
- ・基礎系と実践系に体系化し、専門的かつ高度な研究を行い、自立して研究する能力を養う。

カリキュラム

区分	科目	
共通	研究方法特論	
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特論	基礎系栄養管理学特別研究
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特論	実践系栄養管理学特別研究

(修了要件)18単位以上



働きながら学ぶことが出来る環境に感謝しています

大学の助手として勤めていた時、学生をサポートする上でもっと専門的な分野を勉強したいと思い、天使大学大学院栄養管理学専攻博士前期課程に入学しました。長期履修制度を活用し、3年で修了しました。本来であれば、一度退職し、リセットした上で本格的に学ぶというスタイルが理想かもしれませんが、それが叶わない状況、また、どうしても仕事を続けたかった自分にとって、働きながら学べる環境は魅力でした。

そして、3年後に博士後期課程に進み、現在は「北海道産長芋に含まれるプロテアーゼに関する研究」に取り組んでいます。道産食品の代表的な品目である長芋は、漢方などでも注目されている食材ですが、たんぱく質の分解酵素における効果については、科学的根拠は得られていないため、その生化学的諸性質を明らかにし、それをどう活用するかについて研究しています。

現在の仕事は、農学系の大学講師として、農畜産物の利用についての講義や実習を行っています。商品開発においては「健康志向」であることが求められています。管理栄養士として時代に合った消費者のニーズに応えられる提案をし、学生の教育・研究に繋げていきたいと思っています。

在学生

栄養管理学専攻
博士後期課程 3年次
(天使大学大学院看護栄養学研究科
栄養管理学専攻博士前期課程 修了)
※酪農学園大学農食環境学群循環農学類に勤務

本課程におけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。